

温室効果ガス25%削減  
を目指して

温室効果ガスによる地球温暖化は、異常気象による自然災害を世界各地で引き起こし、また健康面では感染症発生地域の高緯度化をもたらすなど、私たちの身近な生活環境を不安なものにしています。

温室効果ガスを削減するには、大量生産・大量消費の経済活動で右肩上がりに増え続けてきたエネルギー消費量を抑え、ゴミを減らし、資源の再利用を積極的に進めていくことが重要です。

本市民公開講座では、“温室効果ガス削減”をキーワードとして講演会を開催いたします。みなさまのご参加を心からお待ちしております。

日時 平成21年11月15日(日) 13時30分～15時30分

会場 島根大学医学部 医学図書館3階 視聴覚室

★駐車場あり…裏面の地図をご参照ください

## ▼ お申し込み方法 ▼

当日会場入り口にてご参加を承ります。

参加費  
無料

定員  
60名  
(先着順)

## PROGRAM [プログラム]

司会：樽井 恵美子

(島根大学医学部看護学科基礎看護学講座 准教授)

## 演題

## ①「省エネルギー包括的なサービスESCO事業の成果と課題」

宍道 貞雄 (島根大学財務部施設整備課機械担当係長)

## ②「出雲市における地球温暖化対策の取り組みについて」

安田 弘和 (出雲市環境政策部環境保全課係長)

## ③「松江キャンパスにおけるEMS構築の経緯と現状」

巢山 弘介 (島根大学生物資源科学部 准教授  
松江キャンパス副環境管理責任者)

## ④「幼児期における環境教育の取り組み」

佐野 洋子 (出雲市立中央保育所・幼稚園 所長・園長)

主催：島根大学医学部

後援：出雲市

本公開講座は、「平成21年度出雲市民の生涯学習を支援する助成金」を受けています。